



京都社会人大学校

# 北近畿校通信

第 42 号 2023 年 1・2 月

北近畿校運営委員会

事務局発行

☎080-2511-1751

2023 年度もぜひ受講ください

期待に応える、  
一層充実した講座をお届けします。  
『学生ライフ』を楽しみましょう😊



すでに 2023 年度の入学案内パンフをお届けしました。さっそく申し込みいただいた方もたくさんあって、本当にありがとうございます。

講師陣も運営委員も、受講生のみなさんに、「知らなかったことを知る」「ちょっと難しそうなことを考えてみる」ことを楽しんでいただくために、今後も努力していきます。2023 年度分はもうすぐ締め切りです。まだ迷っている方、お待ちしております！

## ＝すご技講座のご案内＝

11 月に実施予定で延期になっていましたすご技講座を次の通り開催します。

日時 3月29日(水) 13時30分から15時30分  
訪問先 丹後和紙 (福知山市大江町二俣 1321)

国道 175 号大江町関交差点より宮津方面へ約 2 km  
丹鉄二俣駅より徒歩 5 分

集合場所 13時15分までに丹後和紙に直接ご集合ください。

※ すご技以外の受講生で参加希望の方は、定員の関係もありますので必ず事前に (080-2511-1751) まで連絡下さい。

### 【新年度より改善】

日程・会場変更は随時 HP を更新しお知らせします。

会場の変更や日程の変更など(できるだけ変更がないようにしたいですが)、常に最新の情報がわかるよう、ホームページを常に更新するなど(京都高齢者大学校から入ってください)対応をとっていきますのでよろしくお願いいたします。



## 1 月は漢字学講座のみ開講

### ◆漢字学講座 1月26日

「科学と漢字」 講師：久保裕之氏

大雪の影響で、交通のアクセスが乱れて出席者も少ない中「科学と漢字」について教えて頂きました。

昔は現象を見て知る事が、「科学」であった。月食の現象は、亀甲文字の時代に既に記されているため、その頃には、認識されていた事がわかる。月と太陽の違いは、毎日形を変えるのが「月」と認識。「月」の文字は、三日月の形を表している。

「風」「虹」の、「虫」の部分は蛇を表している。「空」の工の部分はアーチ型の物と言う意味なので、「虹」は、2匹の蛇が、空にアーチ型を作っている様を表している。

### 科学元素記号の漢字

気体物質には気を、金属物質には金偏。液体物質には、さんずい偏を。それぞれ性質を表した漢字が使われている。

11 世紀の、蘇軾と王安石の、面白い問答「波」と「滑」の「鶴林玉露」も紹介頂きました。蘇軾「波は、どうしてさんずい偏に皮と書くのだ」王安石「波は水の皮のようだ」蘇軾「ならば『滑』は、水の骨なのか？」

今日ツルツルに凍てついた道路で、滑って骨を打った私には、一番響いた項目でした。

# 12月の各講座の概要と、ひとこと感想から (感想は一部を抜粋したのもあります。ご了承ください)



## ◆時事問題講座 12月6日 「コロナ禍、中間選挙などのアメリカで起こったことを 歴史的に考える」 講師: 鈴木元氏

アメリカ問題とは、根深い人種差別、徹底した商業主義の医療、キリスト教原理主義による非科学性、新自由主義のグローバリゼーションによる極端な格差社会である。

コロンブス発見以来、ヨーロッパに侵略され植民地化され、アフリカとの貿易で奴隷が輸入され、奴隷制が確立、1775年から8年間の独立戦争後、憲法で認められた銃の保持。

1861年からの4年市民革命でもあった南北戦争、奴隷解放宣言後、(選挙権はあるが、識字能力がない中で) 資本主義が発展し、1965年ようやく黒人差別撤廃がされた。しかし、2020年警察に黒人が虐殺され、人種差別撤廃へは、新たな問題が起きている。

これからのアメリカは、孤立主義と移民排斥が大きな流れとなり中国の覇権主義で孤立主義が強まる。

「軍事産業が国家をのみ込み、世界中のどこかで戦争をするか、軍需品を押し付ける国となった」ということが強く印象に残りました。戦争のない平和な地球が実現できるか、悩みは深まるばかりです。一年間、難解な講座ばかりでしたがこれからも学び続けたい

トランプがなぜ支持されるのか疑問に感じていたことを解いていただきよくわかった。

アメリカの奥深さ、不思議さを教わった。それにしても今の世の中、全くわからん。今の若い人は本当に不安ではないのか。自分が若かったころの単純な未来予想図が懐かしく恋しい。

## ◆自然科学講座 12月15日 「コンピューターと文字」 講師 山田篤氏

山田先生の講義は事前には資料を一切配らず講義中は話とパワーポイントに集中してもらって資料は帰りに配るというユニークな講義でした。コンピューターと文字ということでその仕組みをわかりやすく話をしてもらいました。中でも文字数の違いは興味を引くテーマでした。アルファベットが大文字・小文字を足して52文字、ひらがなは83文字、カタカナの文字数は86文字。「さて漢字はいくつあるでしょうか」というのが先生からのクイズ。

教育漢字(小学校)は1,026文字。常用漢字は2,136文字、JIS漢字は10,050文字、住民基本台帳ネットワーク統一文字は19,563文字、戸籍統一文字に至っては55,270文字。驚くべき数字です。

講義は文字の形からフォント、コンピューターによる手書き文字の認識の話など多彩な内容の講座で楽しく聴くことができました。



コンピューターでの文字認識の仕方、その変遷を聞いて面白かった。昔、よく文字化けしたことも思い出しました。

期待通り大変楽しめました。色々な知識を得ることができました。

昔の役所の戸籍係職員の書き癖まで、「違う文字」として全部コンピューターに入れなアカン、なんだかってもアナログ! と思いました。

沖縄知事との対談で、菅は「戦前のことを言われても、私はその時に生まれていません」と言い放ちました。政治に関わる者として、最低だと思います。政治家が戦争の反省を忘れてしまっていることが、大きな問題の一つだと思います。



◆歴史講座 12月21日  
「体験・記憶・語り継ぎと歴史認識」  
講師：井口和起氏

歴史認識の大切さを学ばせていただいた。現在、日本はこのことをあいまいにされ、歴史の上澄みをすすするような社会に見える。

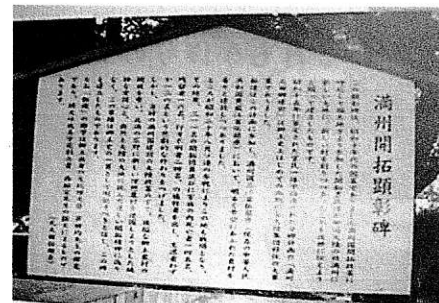
本年度最後は、今までの講義を包括した内容で、主に満州開拓団を素材に体験と記憶の持つ特性を認識し、どのような歴史認識をもって語り継ぐのかという講義であった。

個人の体験はその人の絶対的なもので、開拓団一人ひとりの記憶が誇張や欠落していても尊重される私的領域の問題である。一方、満州開拓団として公的な記憶として残す場合は、国策として関連づけて表現され、個人の体験や記憶は反映されにくい。

例えば、昭和35年の福知山の満州開拓団碑文では、「…突如その地は侵略兵の襲撃により…」が、昭和62年には「…ソ連参戦により、この地も戦場になり…」と変更されている。これは、訪中体験をした天田地区開拓団員が、日中両国の歴史認識の大きな違いに接し、変更したのである。また、世界に視野を広げる必要を痛感したと回想している。

現在、戦後80年を経て、直接体験者(第一世代)から、体験していない第二世代が、どのように語り継ぎ深化させていくのかという課題に直面している。

日本の植民地に対する戦争責任を回避し戦争の悲惨さで満州開拓団を語り継ぐことなどの類を引き起こさないように、歴史認識を高めなければならない。



歴史を多角的に学ぶことは、特に今日重要な事ではないかと感じています。過去を省みない為政者が日本をどう導いていくのか、不安でなりません。

◆漢字学講座 12月22日  
「医術と漢字」 講師：久保裕之氏

昔から病はたくさんあって、漢字がうまれていたことがわかった、中国はなぜ漢方がさかんなのか、肉食が中心だったからということで納得。

今年の漢字は、「戦」でした。「戦」はロシア、ウクライナ問題、物価高、コロナとの戦い、サッカーワールドカップ、五輪等のイメージからそうですが、先月投票された受講生の皆さんは、いかがでしたか？

さて、今回の講義のテーマは「医術と漢字」。何の知識も無かった古代、民は草を茹でて食べたり、木の実、獣の肉を食べて、病気になる事も多かった。医療の神と呼ばれた「神農」はその土地に合う五穀の種をまき、作物を育てる事を教えた。そして自ら、あらゆる物を食べ、あらゆる水を飲み、食べて良い物、飲んで良い水を、民に教えた。一日に70もの毒にあたった。とされている。



また神農は、木を切って鋤、鋤を作ったり、貝殻を使って農具を作る事を教え、市場を作って物々交換する事も教えた。と記されている。

病の症状を1文字であらわすことのできる「やまいだれ」の漢字に感心した。また「やまいだれ」がベッドの象形からできているのを知った。

「病」の「疒」(やまいだれ)は、横にして見るとベッドに横たわる人を表す字。「疒」の付く漢字の多い事。例えば「疹」は、できものが出来ている様。「癌」は、岩石の様な物が出来ている様子。医療機器もない時代、漢字から、かなり高い知識があったのではないかと伺い知る事が出来る。凄い!!

◆寄席芸鑑賞講座 12月8日

天満天神繁昌亭ツアー



待ちに待った「繁昌亭ツアー」行ってきました。日頃の皆さんの行いが良いせいか、晴天に恵まれ、気持ちよく出かけて行くことができました。初めてのことで、にわか添乗員のボランティア達もうまく事故なく行けるか心配でしたが、皆さんがマナーを守り、協力してくださったおかげで時間通りに行動することができました。

現地では小屋にはいるまでに、各々食べたいものをたべ、お土産を買い、それもまた楽しい時間を過ごすことができました。一番太鼓に誘われるように会場に入り、10人の演者の熱演を楽しみました。落語に始まり、漫才あり、ジャグリングあり、笑ったり、驚いたり、最後の福笑さんの落語の時は泣くほど笑いこけたりしました。コロナも依然として流行っている中でのツアーでしたが、すごく楽しかった、こんな楽しい一日はひさしぶりでしたとの感想をいただいて、ほっとした次第です。来年も寄席芸講座開催いたしますのでまた1年楽しみながら勉強したいと思います。来年の繁昌亭を楽しみに。



初めての繁昌亭でした。大笑いさせていただきました。あっという間に終わった感じで舞台も近く落語家さんの所作もよくみえました。出囃子も講義を思い出しながら聞いていました。近ければしょっちゅう行きそうです。

内容が豊富で十分楽しむことができ満足しています。コロナ禍で外に行くことができないなか繁昌亭ツアーに参加でき楽しい時間を持つことができました。舞台と客席が近くておもしろさが大変良い。

念願の繁昌亭にいけてとてもよかったです。また個人でゆっくり行きたいです。上等のウナギを食べてきました。おいしかったです。日頃頑張っている自分にご褒美です。



よい忘年会を妻とすることができて喜んでます。

こんな楽しい一日は久しぶりです。初めての繁昌亭でたっぷりの落語、漫才ジャグリングなど内容も豊かでした。大笑いしてシワが増えました。

とてもよかったです。大いに笑い楽しい時間でした。やっぱり「なま」はいいですね。若い芸人さんが何年か後に立派になれることを楽しみにしています。